青森 国民スポーツ大会 レスリング（少年の部）　[結果]

山口寛汰さん　”優勝”　　増田和之進さん　"5位入賞"　おめでとう！

母校のレスリング部　3年　山口寛汰さんが本年は55kg級に階級を変えて出場。
グレコローマンスタイルで見事「優勝」しました。
山口さんは、昨年も51kg級で優勝しており、2年連続優勝（階級は違う）となります。
しかし、昨冬の合宿でけがを負い5月に復帰しブランクを乗り越えての優勝でした。
また、51kg級フリースタイル出場の増田和之進さん（3年）も5位入賞しました。
藤枝北高校、北高同窓会はもちろん、藤枝市、また静岡県にとって大きな誇りです。
今後も更なる高みを目指して精進していただくことを願っております。

青森 国民 新聞　令和8年(2026年)10月16日（金曜日）

青森 国スポ

山口（藤枝北高）少年男子グレコ55キロ級 盤石の頂点

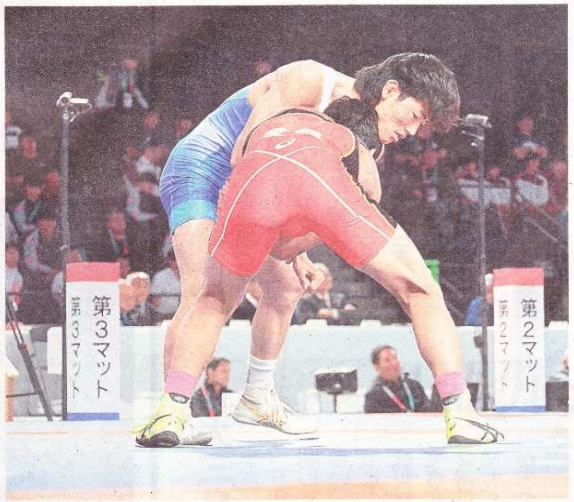
大けが乗り越え「恩返し」

国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」第6日は15日、フラット八戸などで行われ、レスリング少年男子グレコローマンスタイル55キロ級で山口寛汰（藤枝北高）が頂点に立った。同80キロ級の小菅篤史（飛龍高）は3位だった。

馬術では少年馬場馬術の松岡健心（静岡高）が優勝し、少年トップスコアの浅川萬寛（静岡聖光学院中）が7位に入賞した。

陸上成年男子110メートル障害では宮本皓寿（順大、浜松市立高出）が4位、少年男子共通110メートル障害の遠田煌芽（富士見高）は5位に食い込んだ。

卓球成年女子は準決勝で茨城に敗れて3位となり、ボウリング成年男子個人では横地優輝（ビジョン）が4位に入った。



少年男子グレコローマンスタイル55キロ級決勝　相手を攻める山口寛汰（奥）＝フラット八戸

国スポのレスリング少年男子グレコローマンスタイルで、山口寛汰（藤枝北高）が昨年優勝した51キロ級に続いて55キロ級も制した。初戦こそ1点を奪われたが、決勝を含めた計4試合は全くポイントを失わずにテクニカルスペリオリティー勝ち。他を寄せ付けなかった。

決勝も豪快な投げ技を2回決めるなど最後まで主導権を渡さず、圧倒的な試合運び。「自分のレスリングを貫けた」と振り返る。

昨冬の合宿で左肘脱臼のけがを負い、手術を経て5月に復帰した。ブランクもあり、全国総体は2回戦負けだった。

挫折を味わったが、家族や指導者の支えを受け、雪辱を誓って練習を重ねた。足腰やスタンドのブレない軸を重点的に鍛えてきたという。今大会は、練習の成果と得意な投げ技の実力を遺憾なく発揮した。

全国の頂点に返り咲き、「素直にうれしい。支えてくれた家族や監督に恩返しができた。感謝の気持ちでいっぱい」と、ほおを緩めた。大学進学後もレスリングを続ける予定。自信を取り戻した王者は「オリンピックまで行けたら」と夢を膨らませた。（土屋賢太）

レスリング

（青森県フラット八戸）

▽少年男子グレコローマンスタイル55キロ級準決勝

山口寛汰（藤枝北高）　Tスペリオリティー　1分24秒　大門陸翔（石川・志賀高）

▽同決勝

山口寛汰　Tスペリオリティー　2分21秒　阿達日煌（愛媛・八幡浜工高）

▽同グレコローマンスタイル80キロ級準決勝

永田裕生（東京・自由ケ丘学園高）　Tスペリオリティー　5分58秒　小菅篤史（飛龍高）

青森 国民 新聞　令和8年(2026年)10月14日（水曜日）

レスリング

▽少年男子フリースタイル51キロ級1回戦

増田和之進（藤枝北高）　Tスペリオリティー　1分35秒　宮田一毅（広島・高美が丘中）

▽同2回戦

増田和之進（藤枝北高）　フォール　33秒　笹山修壱（福井・敦賀気比高）

▽同準々決勝

松浦充希（愛知・星城高）　フォール　1分32秒　増田和之進（藤枝北高）